

平成30年度 健康保険委員アンケート

アンケート実施概要

- 実施目的

協会けんぽ福井支部が平成30年度に実施した事業の認知度および受動喫煙対策の状況についての調査

- 実施方法

けんぽPlus+vol.12 (平成31年2月号) にアンケートと返信用封筒を同封

- 対象者

健康保険委員 2,336名 (実施当時)

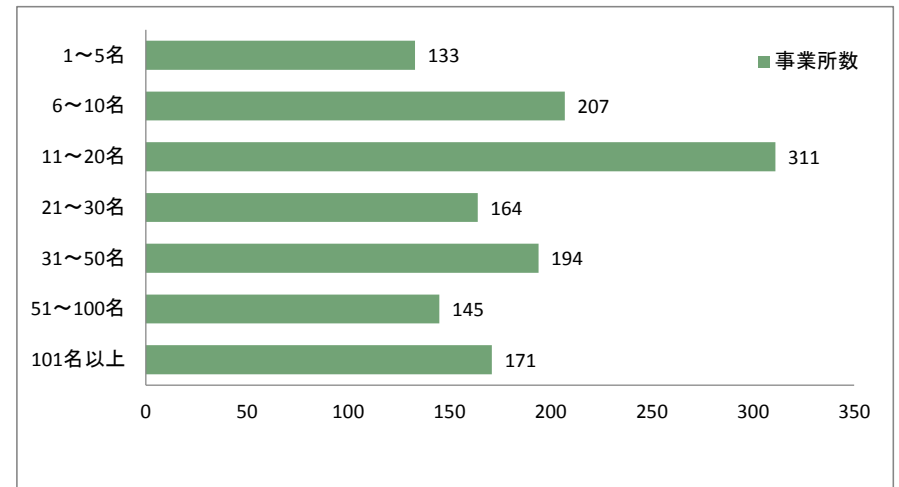
- 実施期間

平成31年2月1日～3月15日

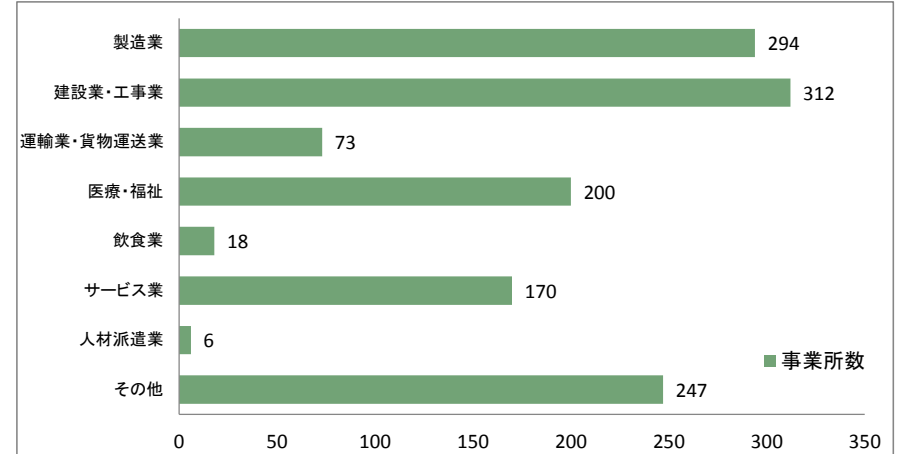
- 回答総数

1,328通 (回答率 : 56.8%)

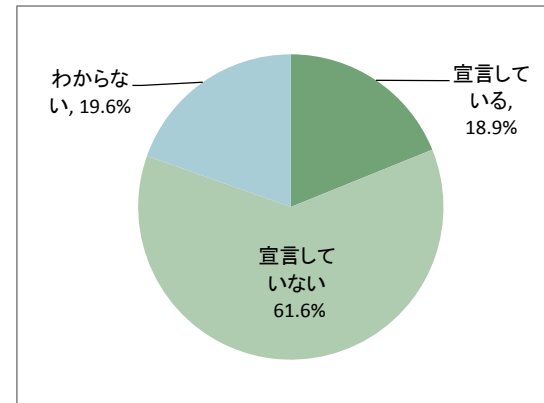
Q1	従業員数（協会けんぽ未加入者を含む）についてご回答ください	事業所数	割合	有効回答数
1	1～5名	133	10.0%	1,325
2	6～10名	207	15.6%	
3	11～20名	311	23.5%	
4	21～30名	164	12.4%	
5	31～50名	194	14.6%	
6	51～100名	145	10.9%	
7	101名以上	171	12.9%	



Q2	業種についてご回答ください	事業所数	割合	有効回答数
1	製造業	294	22.3%	1,320
2	建設業・工事業	312	23.6%	
3	運輸業・貨物運送業	73	5.5%	
4	医療・福祉	200	15.2%	
5	飲食業	18	1.4%	
6	サービス業	170	12.9%	
7	人材派遣業	6	0.5%	
8	その他	247	18.7%	



Q3	健康づくり宣言をしていますか	回答数	割合	有効回答数
1	宣言している	245	18.9%	1,298
2	宣言していない	799	61.6%	
3	わからない	254	19.6%	

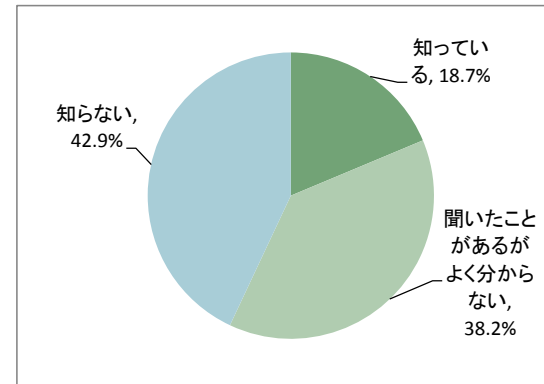


実際の健康づくり宣言事業所における健康保険委員数（247名）とアンケートの「宣言してる」の回答数（245件）が類似していることから、「わからない」は「宣言していない」事業所とみることができます。

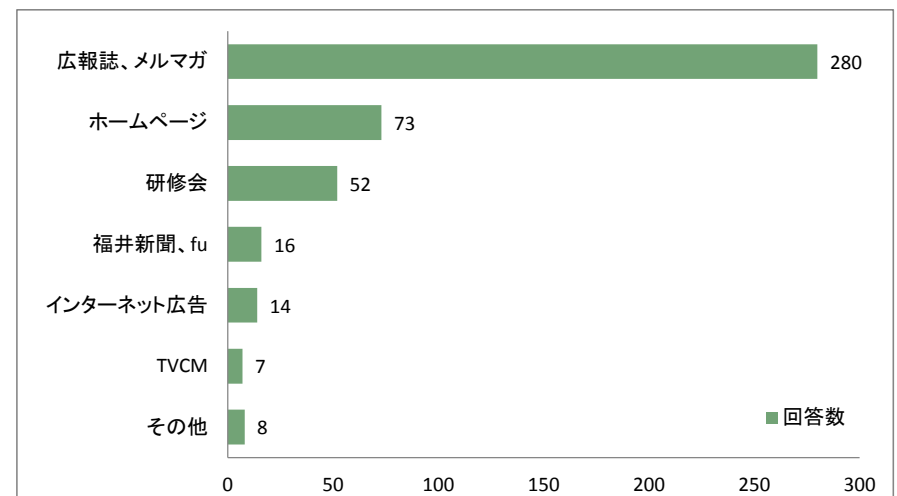
しかし、宣言しているか否かが不明ということは健康づくり宣言への関心が低いと考えられます。健康保険委員の約2割を占めることから、広報の方法を今後検討してまいります。

Q4	インセンティブ制度が導入されたことをご存知ですか	回答数	割合	有効回答数
1	知っている	246	18.7%	1,319
2	聞いたことがあるがよく分からない	504	38.2%	
3	知らない	566	42.9%	

インセンティブ制度は健康保険料に直結する重要な事項でありながら「知らない」が一番多く、「知っている」が2割未満にとどまっており、周知不足が目立つ結果となりました。一方で、「聞いたことがあるがよく分からない」が3分の1以上をしめていることから、今後の広報は制度の周知のみならず、制度の内容についてもよりわかりやすい広報を行っていきたいと考えます。

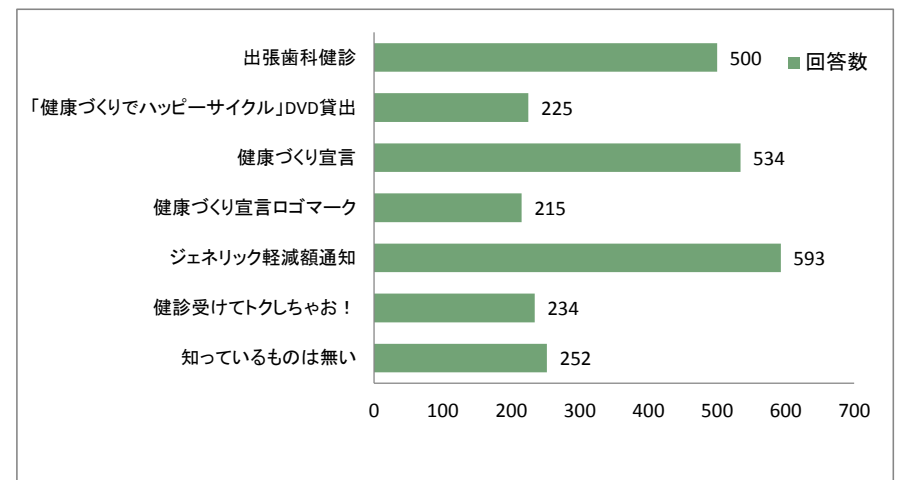


Q5	インセンティブ制度をどこで知りましたか【複数回答】	回答数	割合	有効回答数(通数)
1	協会けんぽの広報誌、メルマガ	280	83.1%	337
2	協会けんぽホームページ	73	21.7%	
3	健康保険委員研修会	52	15.4%	
4	協会けんぽ以外の広告(福井新聞、fu)	16	4.7%	
5	インターネット広告	14	4.2%	
6	TVCM	7	2.1%	
7	その他	8	2.4%	



Q6	以下の事業のうち、ご存じのものをご回答ください【複数回答】	回答数	割合	有効回答数(通数)
1	出張歯科健診	500	38.5%	1,298
2	「健康づくりでハッピーサイクル」DVD貸出	225	17.3%	
3	健康づくり宣言	534	41.1%	
4	健康づくり宣言ロゴマーク	215	16.6%	
5	ジェネリック軽減額通知	593	45.7%	
6	健診受けてトクしちゃお!	234	18.0%	
7	知っているものは無い	252	19.4%	

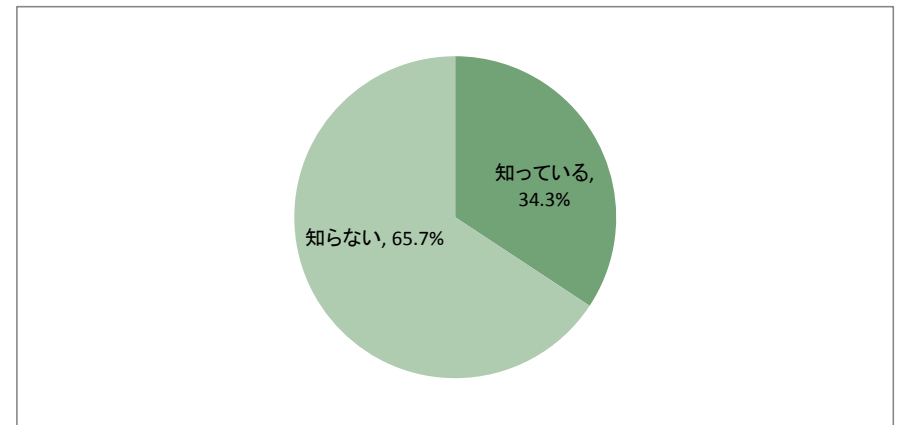
以前から実施している「出張歯科健診」「健康づくり宣言」「ジェネリック軽減額通知」は一定程度の認知があるが、平成30年度の新規事業についてはいずれも2割を切っています。さらに「知っているものは無い」が20%近くあり、新規事業は当然のことながら、既存事業についても広報を強化していく必要があると感じられました。



Q7	健康増進法改正（2020.4から原則屋内禁煙）をご存知ですか。	回答数	割合	有効回答数
1	知っている	449	34.3%	1,310
2	知らない	861	65.7%	

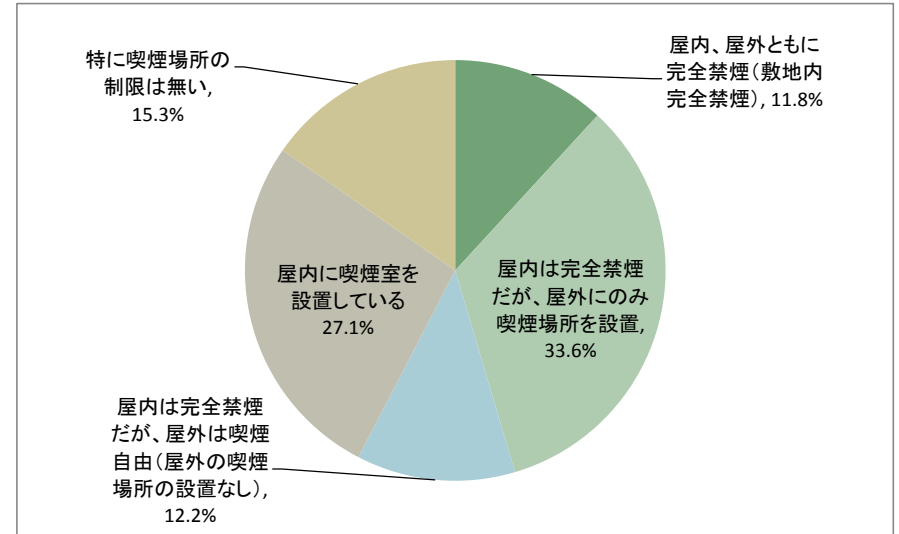
業種別内訳	業種	知っている	知らない	未回答
	製造業	29.9%	68.4%	1.7%
	建設業・工事業	25.6%	72.4%	1.9%
	運輸業・貨物運送業	30.1%	69.9%	0.0%
	医療・福祉	54.5%	44.5%	1.0%
	飲食業	66.7%	33.3%	0.0%
	サービス業	30.0%	69.4%	0.6%
	人材派遣業	50.0%	50.0%	0.0%
	その他	34.0%	64.4%	1.6%

全体では「知らない」が過半数を超えるが、業種別にみると2019.7実施に該当する可能性が高い医療・福祉業と影響が大きい飲食業では逆に「知っている」が過半数を超えています。



Q8	現在の喫煙室等の設置状況（受動喫煙対策）をご回答ください	回答数	割合	有効回答数
1	屋内、屋外ともに完全禁煙（敷地内完全禁煙）	156	11.8%	1,319
2	屋内は完全禁煙だが、屋外にのみ喫煙場所を設置	443	33.6%	
3	屋内は完全禁煙だが、屋外は喫煙自由（屋外の喫煙場所の設置なし）	161	12.2%	
4	屋内に喫煙室を設置している	357	27.1%	
5	特に喫煙場所の制限は無い	202	15.3%	

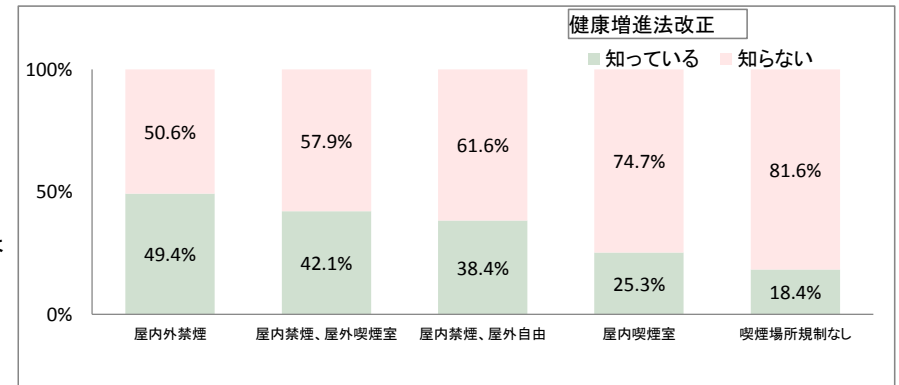
敷地内禁煙は実施できていなくとも、屋内禁煙の事業所が57%を占め、屋内喫煙室設置等、何らかの対策を行っている事業所が8割を超えていました。



業種別内訳	受動喫煙対策状況							
	製造	建設・工事	運輸・貨物	医療・福祉	飲食	サービス	人材派遣	その他
屋内外禁煙	4.8%	1.6%	4.2%	45.2%	0.0%	9.5%	0.0%	11.0%
屋内禁煙、屋外喫煙室	27.7%	31.6%	38.9%	37.2%	61.1%	33.1%	50.0%	35.5%
屋内禁煙、屋外自由	12.0%	13.2%	6.9%	10.6%	5.6%	14.8%	16.7%	13.1%
屋内喫煙室	41.1%	27.1%	30.6%	4.5%	11.1%	28.4%	33.3%	28.2%
喫煙場所規制なし	14.4%	26.5%	19.4%	2.5%	22.2%	14.2%	0.0%	12.2%

業種別の対策状況では、医療・福祉で敷地内禁煙率が高く、他業種では喫煙場所を指定していることが多い結果となりました。しかし喫煙場所規制なしとの事業所も一定数みられ、建設・工事業では4分の1を超えました。

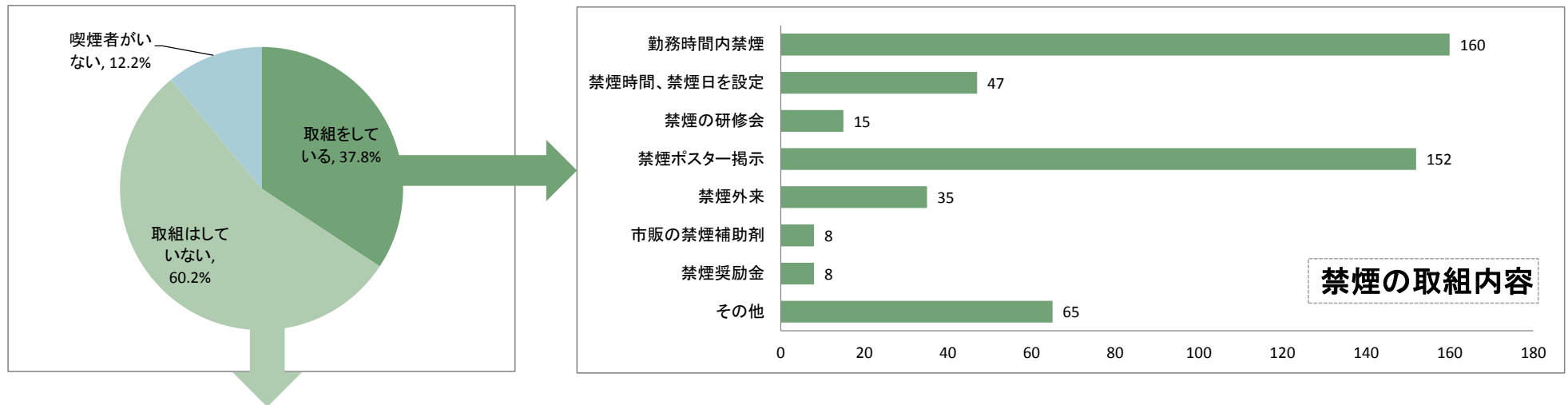
なお、Q7の健康増進法改正を知っているか否かで分類した場合、「知っている」事業所においては屋内禁煙を実施している事業所が多く、「知らない」事業所で屋内禁煙室設置、喫煙場所規制なしの割合が多くなっていました。



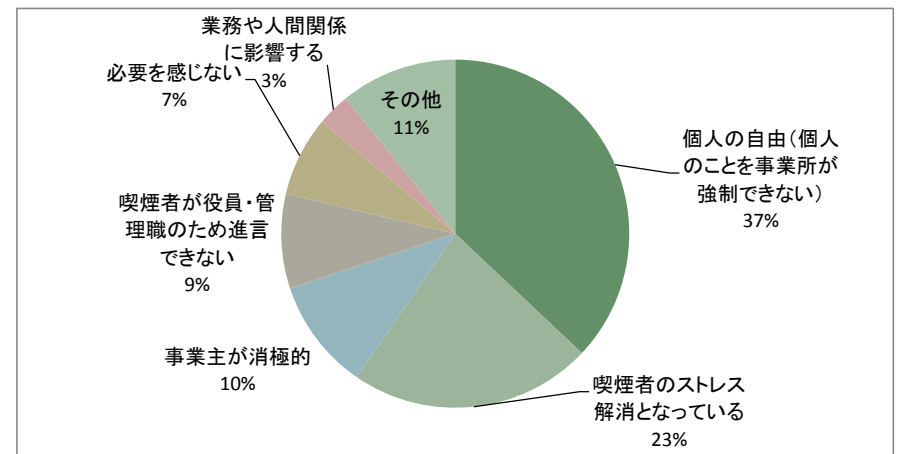
Q9 実施している禁煙取組をご回答ください【複数回答】		回答数	割合	有効回答数
禁煙の取組をしている				
1	勤務時間内禁煙	160	12.3%	1,298
2	禁煙時間、禁煙日を設定	47	3.6%	
3	禁煙の研修会	15	1.2%	
4	禁煙ポスター掲示	152	11.7%	
5	禁煙外来	35	2.7%	
6	市販の禁煙補助剤	8	0.6%	
7	禁煙奨励金	8	0.6%	
8	その他	65	5.0%	
禁煙の取組をしていない				
9	取組はしていない	782	60.2%	
10	喫煙者がいない	158	12.2%	

受動喫煙防止対策としての喫煙場所制限の実施とは対照的に、禁煙取組としては「取組をしていない」が6割を超える結果となりました。

※「その他」の詳細については次ページ参照



Q10 禁煙取組なしの理由をご回答ください		回答数	割合	有効回答数
1	事業主が消極的	85	10.4%	821
2	喫煙者が役員・管理職のため進言できない	72	8.8%	
3	業務や人間関係に影響する	25	3.0%	
4	喫煙者のストレス解消となっている	185	22.5%	
5	個人の自由（個人のことを事業所が強制できない）	304	37.0%	
6	必要を感じない	61	7.4%	
7	その他	89	10.8%	



禁煙取組を行っていない理由は「個人の自由」「ストレス解消」と、喫煙者の意思に配慮した結果が多数であった。

Q9 禁煙取組（その他）の回答

<敷地内禁煙、喫煙場所指定>

会社の社屋は禁煙で駐車場の一部で喫煙場所を設置

屋内完全禁煙としたことで喫煙者は数名となった

ずいぶん前より屋内禁煙にしている（屋内での）来客に対しても

今年より屋内完全禁煙を実施、受付に「禁煙」札の設置

今年の内に店内禁煙を実施する

屋内喫煙室、屋外喫煙場所の設置 / 喫煙するときは喫煙室です / 一定の場所以外の喫煙の禁止 / 喫煙場所の指定 / 喫煙場所の設置 / 喫煙所を指定 / 分煙化 / 分煙

既に敷地内完全禁煙が守られている / 仕事場である事務所は禁煙にしている / 喫煙場所を備けてはいるが特別な事はしていない / 屋内禁煙にしている / 屋内完全禁煙 / 敷地内禁煙

会社内は禁煙 / 指定場所での禁煙 / 会社内には禁煙にしている。1名以外全員吸わない。 / 基本的に禁煙の業種

できる限り屋外で喫煙 / 屋外喫煙場所の設置のみ / Q8の②屋内完全禁煙、屋外のみ喫煙場所を設置（20年程前）

<時間禁煙>

社内に喫煙者だけの時に限り喫煙許可、その他は原則禁止

事務所内勤務時間禁煙（別途喫煙室あり） / 喫煙は休憩時間のみ / 勤務時間中、休憩時間のみ喫煙 / 作業中は禁煙

<車も禁煙>

社用車においても4月より禁煙 / 4月より社用車禁煙

<声掛け>

声かけ / 呼びかけのみ / 社長が口頭で言う / 口頭で注意している / 口頭で禁煙 / 喫煙者チェック

常日頃から禁煙を呼びかけている / タバコは毒だと吸っている場面で声を掛ける / 口頭で喫煙を少しでも減らすようアドバイスいたします / 喫煙者にときどき禁煙の指導

1名おりますが、自主的に配慮しています。禁煙は社内でも折に触れ話し合っています。

メールや言葉で言ってみても改善なし。一部の人のみ。

<冊子・リーフレット>

協会けんぽの冊子等を閲覧している / 喫煙のリスク等のリーフレットなどの掲示

<自発的、経営者率先>

社員が自主的に始めた。今はほぼ禁煙者。 / 役員が禁煙 / 経営者自ら禁煙した

<社内禁煙の手法>

事業所内に灰皿を置かない / 前は禁煙ポスターを掲示していたが定着したので取り外しました。灰皿はすべて片づけてあります。

少しでも喫煙が少なくなる様に事務所入口に飴やチョコレートを置いている。が、各自車に乗ってしまえば強制はできない。

<禁煙外来、禁煙補助剤>

禁煙外来 / 禁煙外来を行っており、そもそも禁煙体制 / 当院では禁煙外来を行っていません

禁煙パイポのすすめ

<その他>

たばこを吸っていない人に1000円/月支給

アイコスの推進

以前はいたが、現在はいない / 本部以外出来ていない

グループ会社での取組、屋内喫煙室の廃止、別棟での喫煙所設置予定、断煙への誘導

Q10 禁煙の取組をしない理由(その他)の回答

<喫煙者が少数、またはいない>

喫煙者がごく少数な為 / 喫煙者がいない / 職員に喫煙者がいないため / 一人しかいないので / 喫煙者がいない / そもそも喫煙者がいない / いまのところ、喫煙者がいない
喫煙者が2名のため / 喫煙者がほとんどいない(2人) / 喫煙者がいないため、取組む必要がない / 喫煙者がほぼいない為 / 喫煙者が1人だけ / 喫煙者がほとんどいない、ほとんど
福祉の施設なので喫煙する方はいない、女性が9割 / 喫煙者が少ない事もありますが、内輪で取り決めしている為 / 少人数会社のため喫煙者が1~2名ゆえ
苑内での喫煙をする職員はいない。ルールを守っている。 / 喫煙者が1名しかおらず、マナーもよいため取組は行っていない / 喫煙者が少なく、苦情もない
一人だけが喫煙者でありあまり吸わないため / 年輩の方一人のみなので、特に行ってはいない。 / 年配の3人しか喫煙者がいない
喫煙者が少ない(2.3人)のと喫煙者は屋内では喫煙していないし、屋外の指定の場所で喫煙しているので特に取組んでいません
今のところ喫煙者がいない。今後は人数も増える可能性があり意識していこうと思う。
喫煙者がいない(仕事中は喫煙していない) / 喫煙者が少ないし休憩時にすっているため / 喫煙者は一人で休憩時間のみ喫煙で秩序を守っている
喫煙者は1人ですが、何度か禁煙に挑戦しており2020までに自主的に禁煙をする事を見守りたい。 / 社長のみ喫煙者なので必要を感じない

<喫煙者が多数>

ほとんどの従業員が喫煙者 / 全員が喫煙者である

<喫煙場所制限等で十分>

社内喫煙徹底している / 屋外屋内完全禁煙になっている為、特に取決め知ってなくても守られています。
屋内が完全禁煙になっただけでも、すわない人に迷惑にならない / 会社の社屋は禁煙で駐車場の一部で喫煙場所を設置 /
分煙が出来ている為、特に必要とは思っていない / 喫煙者が少なく分煙に協力的であるため。会社では分煙の取組を行っている。
喫煙者が自主的に事業所内では喫煙していない / 場所時間など非喫煙者に影響しないよう配慮している / 休憩時間のみしか喫煙できないため。その他の時間は不可。
勤務時間中に喫煙をする者はおらず、又、喫煙者もマナーやエチケットを守ってにoinなどが全くないように気をつけてくれている為
喫煙者は社内が禁煙だと知っているからあえて取組まなくても良い / 喫煙場所を設けている為、特に取組む必要なし /
分煙がしっかり出来ているため、非喫煙者からの要望もなく喫煙者のストレス解消となっている為

<社外、車内喫煙を止められない>

お昼休みに自分の車の中で喫煙している / 自主的に屋外で喫煙しているので喫煙者が少ない
事業所内はダメだが、外での仕事に対しては強制徹底できない / 事業所で喫煙する人がいないのでそこまで言えない
運送業務のため / 作業員は基本的に屋外で仕事を行っている為仕事が屋外ばかり

<来客には制限できない>

社員で喫煙者は1名しかおらず、自分で迷惑にならない様管理してくれている。売店ご来客でたまに店内で喫煙する方がいらっしゃるが制限していない(今のところ)
来客者に強要しづらい / お客様には言えない / 役員、社員では吸う者がおらず、お客様が吸われるのは自由にしております。 / 事業所内には喫煙者はいなくお客様のみのため

<喫煙者に言えない、応じてもらえない等>

なかなか言えない。社会的にもっと大きな声になってば言い出しやすいかも。 / 法的規制が無いことは言い出しにくいです。
喫煙者に禁煙を促しても応じてくれない / 口頭で注意してもダメなので本当は困っています。
過去に行ったが実績がなかった / 禁煙はすすめているが、完全徹底できないため / 以前行っていたが、かかれて喫煙していたり等うまくいかなかったし、反発も大きかった。
個人のモラルにまかせている / 社長本人がやめる気がないので(残りわずかの人生なのでとの事)社員に大きいことは言えない。

<意識していない>

問題意識がない / 問題意識が全くない / 本人も分かっているけどやめられない様で / 喫煙者は全く禁煙の意思がない / 関心がない。事業主が忙しすぎる。
取組について考えたことがなかった。 / 事業所の禁煙の必要性に気が付いていなかった / Q7(2020年4月から原則事業所も屋内禁煙)を知らなかった
業種柄、特にその事を話した事がない。でも、喫煙者が少なくなっている。

< 電子タバコに変更している >

電子たばこに変えた為 / 電子タバコへの移行 / アイコスなど使用

< 検討中 >

禁煙の取組について現在検討中です / 禁煙への努力の最中であるため / 今後検討を考えている / 今後検討予定 / これから取組みます
本日社員（喫煙者）に禁煙の意思があるか確認しました。禁煙したいとの事。今後様子をみます。本人の禁煙の取組にも協力します。

< その他 >

健診結果をふまえ口頭指導のみ

強くではないが喫煙者に伝えてはいる。

一応禁煙をすすめている。（本数を減らす、軽い物にする）

他のことを優先して取り組みが間に合っていない

喫煙者が気がつかっている

喫煙に対して過敏すぎて息が詰まる。個人の自由と権利は守られるべき。何でも勝手に決めてしまうのはどうかと思う！ストレスたまって病気の原因になる事もある。